

# 在職十年を振り返る(六)

由良地区公民館長 枝川隆 亮

◎平成二十四(二〇二二)年

生涯学習講座は、舞鶴市教育委員会にお願いし、社会教育指導員の小室智子さんに「丹後海運を支えた由良湊」と題して講演をしていただきました。

由良湊には、最盛期(江戸末期)明治二〇年代)には百三十隻の北前船が入りし、米・塩さわ(さば)油・生蠟・昆布など日本各地の多くの産物を商いし北は江差から酒田などの港で交易、最終地は大坂であった。現在、グローバルな流通は船、国内はトラックである。当時、国内の流通は日本海側を航行する北前船(西廻り航路)、太平

洋側を航行する東回り航路で成り立っていた。

日本海を航海し電信が発達するまで各地方の文化を北前船が全国に運んだと公演されました。

この年は、南米チリ国で炭鉱の事故が発生、三十三名が生き埋めとなりましたが六十九日ぶりに全員生還するという明るい話題がありました。

この年から宮津市では各公民館主催で「ウォーキング運動」が本格化してきました。

「出羽と丹後のきずな」庄内由良を二十三名が訪問し交流を深めています。

由良小学校の閉校が決定、学校と地区の最後の合同運動会を実施。記念の「人文字撮影会」には、この記念日のため帰省した小学校卒業生の六百余名が参加、母校の思い出を語り合っていました。

特別に地区内の各神社の太鼓が勢ぞろいし、白熱の演技に参加者は大喝采をしていました。

「閉校記念誌」を発刊することが決定、約一年間資料や卒業記念写真収集に大変な苦労がありました。立派な記念誌を作ることができました。

◎平成二十五(二〇二三)年

一八七三(明治六)年に松原寺禅堂を校舎として由良小学校は開校しました。三月に一四一年の歴史に幕を下ろしました。

一八七七(明治十)年に現在地に移転、敷地面積は三四六坪、明治十二年には校舎増築、明治二十四年には由良村立と名称を改名、翌二十五年には丸八江(丸田・八田・和江)由

良、神埼、東雲四ヶ村組合高等小学校を和江に設立。明治三十三、三十六、三十九年には校地拡張。また、明治四十二年には由良石(花崗岩)でできた石垣の塀を設置しています。

大正十一(一九二二)年に火災が発生、第一校舎、第三校舎と雨天体操場を焼失、再建に向けて建築委員会が結成、協議が難航したが、本館二階建(職員室と講堂)、校舎を三棟、雨天体操場を完成させた。

費用は地区割りでしたが、米価で換算すると再建工事費用は約二億一千万円余りになる(公民館だより第一四七号飯澤登志朗氏記事引用)。

昭和六(一九三一)年に小室糸蔵氏が運動場用地として約千坪を寄付、現在の広さになりました。

二千九百九十九人(大正十一年から平成二十四年までの記録)の卒業生を送り出し、幾多の歴史を経た由良小学校は閉校となりました。(以下次号)

# 行事報告

主事 千坂 幸雄

## ◎由良地区健康広場ウォーキング

### ○五月ウォーキング

五月十日(日)

福知山城ウォーキングを開催

由良駅発九時五十六分

由良駅着四時四十五分

二十三名という多くの方の参加で元気に歩いてきました。

### ○六月ウォーキング

六月二十一日(日)

地区内ウォーキングを開催

「森が鼻コース」約3.4km

をウォーキングしました。

十三名の参加、参加された皆さんは、畑に植えられている

柿木やキウイなどに関心をもちながら又、地域のことなど

話に花を咲かせながらウォーキングを楽しんでいました。

### ○七月ウォーキング

七月十二日(日)

地区内ウォーキングを開催

「浜コース」約3.6kmをウォーキングしました。

十一名の参加、奈具神社に向かう途中、畑のいたるところ

で農作業をしておられる方にお会いし、挨拶を交わしな

ら歩きました。浜では日曜日でもあり、海水浴客が目立ちました。浜茶屋が出ていて

夏本番を感じました。身体の健康だけでなく、心のリフレッシュにもつながっていたようです。

八月ウォーキング

### ○八月ウォーキング

八月三十日(日)

地区内ウォーキングを開催

「浜コース」約3kmをウォーキングしました。

八名の参加、真夏を過ぎ、小雨が降る日で傘をさし、涼しさを感じながらのウォーキングでした。

九月ウォーキング

### ○九月ウォーキング

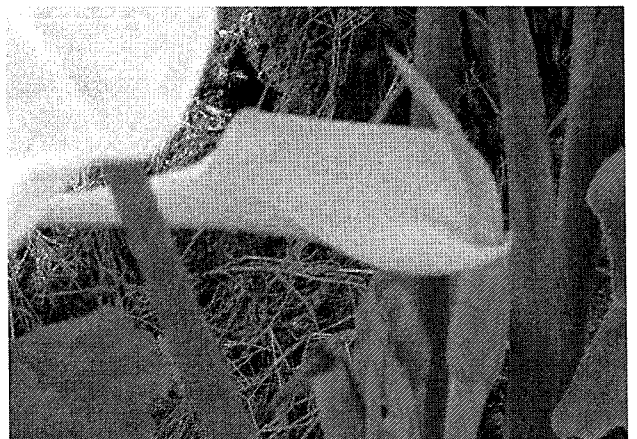
九月二十一日(日)

地区内ウォーキングを開催

「浜大回りコース」約4.7kmをウォーキングしました。

十八名参加、絶好の日和に恵まれて今回は少し長い距離をウォーキングしました。

松原寺から浜に出て脇の岩穴



稲荷に立ち寄り、線路沿いからグラウンド横に出ました。途中で、ずいき芋の花を見ることが出来ました。コスモスも咲いていました。

十月は、丹鉄でコウノトリの郷公園に行く予定です。写真はずいき芋の花です。

## ◎グラウンドゴルフ大会(個人戦)

六月十四日(日)午後二時から午後四時



はまの子グラウンド  
男子十六名、女子十一名  
役員五名 計三十二名参加  
よく晴れた蒸し暑い日になり  
ましたが、時々吹く風が心地  
よく感じられました。どのグ  
ループも笑顔が絶えず、和気  
あいあいゲームを楽しんでい  
ました。  
「競技結果」敬称略  
男子の部  
優 勝…糸井治孝  
準優勝…野村孝行  
第三位…林 一孝

七月五日(日)午前八時三十  
分から午後三時三十分  
はまの子体育館  
選手：男子四十九名、女子  
四十九名 役員：二十三名  
計百二十一名参加  
由良自治連合会共催  
今回は、女子の部で二十四  
連勝していた三部に四部がセ  
ットカウント二対一で勝って  
優勝しました。  
若い選手の活躍が目立った大  
会でした。

◎四部対抗バレーボール大会  
(ソフトバレーボール大会)

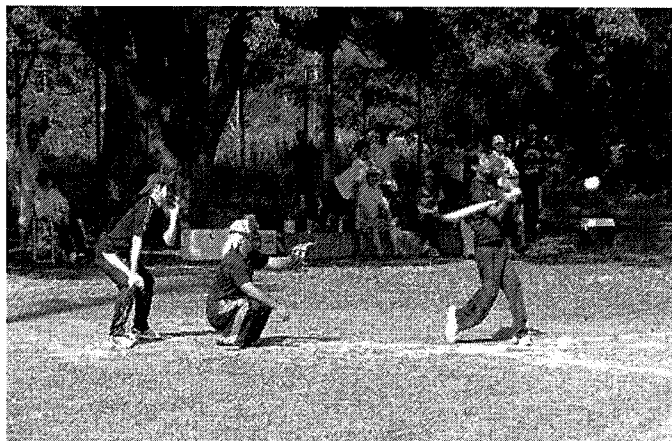
女子の部  
優 勝…濱野尚子  
準優勝…糸井久枝  
第三位…中西 巴  
グラウンド整備を六月八  
日(月)に自治連合会・松  
寿会・バードゴルフ等の皆さ  
んのご協力を得て行いまし  
た。

「試合結果」

男子の部  
優 勝…三部(浜野路)  
準優勝…二部(宮本)  
第三位…一部(脇)  
第四位…四部(港・下石浦・  
上石浦)  
女子の部  
優 勝…四部(港・下石浦・  
上石浦)  
準優勝…三部(浜野路)  
第三位…二部(宮本)  
第四位…一部(脇)

◎四部対抗ソフトボール大会

八月十六日(日)午前八時  
三十分から十二時十分  
はまの子グラウンド  
選手五十名、応援者二十名  
計七十名参加  
天候は、晴れ時々曇り、三十  
度、それほど熱くなく、二日  
前の雨でグラウンド状況も上  
々、勝ち負けにこだわらず多  
くの方に参加していただいで  
楽しく過ごすことが出来まし  
た。



結果は次の通りです。

優 勝…二部(宮本)  
準優勝…三部(浜野路)  
第三位…四部(港・下石浦・  
上石浦)  
第四位…一部(脇)

◎盆踊り

八月二十三日(日)午後七時  
から八時十分  
松原寺  
えいへいや踊り保存会十名、

地区の大人十名、子どもたち七名、公民館役員十四名 計四十一名参加

由良小唄とえいへいや踊りを交互に二回行い、最後に由良小唄で終わりました。

子どもたちや親、初めて踊られる方も輪の中に入り、賑やかに踊ることができました。

◎はまの子グラウンド清掃

九月六日(日)

午前八時から九時十五分

雨が降る悪天候にもかかわらず、約五十名の方にお世話になりました。草刈り機で周囲を刈っていたき、手鋏の方は内側の草を引いていたききました。水たまりが出来る状態で引きにくかったと思います。それでも熱心に作業していただき、ありがとうございます。おかげで地区運動会が出来るグラウンドになりました。



◎由良地区運動会

九月二十七日(日)

午前八時三十分から午後三時

はまの子グラウンド

参加者 由良地区民及び由良

地区出身者

延べ参加者数 九百五十四名

二日前まで雨が降っていて開催が心配されましたが、当日は汗ばむほどの良い天気になりました。



なりました。

けが人もなく、地区の皆様楽しんでいただけたことは大変良かったと思います。

運動ができる、できないにかかわらず、又、ご高齢の方にも楽しんでいただけるような種目を行うことを考えて前回と変更した種目は、小学生の障害物競走、年代別の玉入

れ、男女一緒に行く綱引き、七十歳以上の宝釣りなどです。全体としてはうまく配分が出来たと思いますが、次回は、もっと楽しく気楽に、どなたにも参加しやすい種目を考えたいと思っています。各地区の応援が素晴らしく、運動会を盛り上げていただきました。

# 由良・栗田の地に赴任して

栗田中学校 教頭 小坂卓男

昭和六十年、正式に教員として採用されてから早三十年以上の月日が流れました。宮津中学校では十五年、養老中学校では三年間お世話になりましたが、栗田中学校は初めてです。同じ宮津市の中学校でも育った環境は違い、栗田中学校ならではの魅力ある教育活動が推進されています。

全校六十五名中、由良地域の生徒は十四名。約二割です。しかし地域活動も盛んで、四月十七日の由良子供会連絡協議会に出席させていただき、生徒達の健やかな成長に向け、多くの方がご尽力されていることに触れ、すばらしい地域だなあと感じました。まさに社会総がかりの取組を肌で感じ取りました。四月九日(木)寒い朝。晴れ。曲折のロード、奈具海岸を走

る。白い巨石に緑の松、碧空に青い海、朝の爽やかさが車内に漂う。曲折のロードの最終にはサーファーが波に遊ぶ姿が映り白波の遊ぶ砂浜が続き広がる。

目的地の由良駅に向けて右折すると、見事な桜並木のトンネル。うっとりとして通り抜けるとヨットの帆、由良駅が見えた。由良地域の生徒は、こんな桜たちに見守られ、一日のスタートを切っている。うらやましい。まだ生徒の名前と顔が一致しない中、「おはよう」と声をかける。それが始まりだった。

今は、もう秋も深まりつつあり、由良蜜柑もあちらこちらでその存在感を示している。

十月三日(土)。快晴。朝七時二十分由良駅集合。栗田地域の生徒六名にも応援してもらい駅舎清掃を行う。由良環境づく

り推進委員の皆さんも十八名参加。取組終了後、委員の皆さんとの交流会。「まずはあいさつ。大きい声でできていいねえ」「言われてやるのではなく、このように自主的に行動できることはすばらしいことだよ」と伝えていただき、生徒の心にもあたたかいものが流れました。

駅の近くに足湯があり、その近くに北前船の資料館があるようです。江戸から明治にかけて北前船の寄港する由良は、きつと賑やかに栄えていたのでしよう。

その歴史と伝統を忘れず今もよりよい文化をこの地に引き継ぐようと活躍する北前船プロジェクト宮津実行委員会の皆さんのご厚意で、プロのフラメンコの舞踊・歌・ギターに触れる機会を得ました。激しいまでのフラメンコに圧倒され、『オレ』という掛け声(ハレオ)を生徒たちはなかなかかかせることができませんでした。もっと躍動感あふれる反応・のりがあってもいいの

ではと感じました。

十一月十五日(日)、京都府丹後教育局が主催する古典の日推進事業において二年生が説経節『さんせう太夫』の朗読発表に挑戦します。安寿と厨子王の話です。中世の語り物文学。鴉外の『山椒大夫』は『さんせう太夫』をモチーフにしています。山椒大夫への憎しみと復讐方法は、中世の語りもののほうがはるかに強い感情がいきづいている。

カセットから流れる説経節の節は、現代人には遅すぎてなかなか慣れないようですが、一節一節に思いを込めて表現することもできます。地元由良を誇りにもち、堂々と発表してもらいたい。

昔からこの地に息づく恵みを大切に、私も生徒とともに成長していきたい。

# 安全・安心なまちづくり

由良駐在所 小林 敬 互

日頃は由良駐在所の各種活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成二十五年四月に着任してから、早くも約三年の月日が経とうとしています。

この三年間の経験を踏まえ、今後も緊張感をもって職務執行を進めたいと考えています。

さて、今回も公民館だよりに寄稿させて頂く貴重な機会を頂戴しましたので、

## ・振り込め詐欺等の 特殊詐欺の被害防止

についてご説明します。

振り込め詐欺と振り込め詐欺以外の特殊詐欺を「特殊詐欺」と総称していますが、平成二十七年八月末現在の京都府下における被害認知件数は一〇一件で、前年同期比プラス

三件と増加傾向にあります。また、被害総額も約三億八千四百万円にも上っており、未だ深刻な状況にあります。

最近の傾向としては、

○実在する、あるいは架空の

会社を名乗って、株や債券、

老人ホームの入居権等の取引

話を持ちかけ、断ると「個人

人でないと購入できないの

でああなたの名義だけでも貸

してほしい。」と名義貸し

を依頼し、了承してしまう

と、その後別の者が「名義

貸しは実は違法でトラブル

になった。」などと称して、

和解金等の名目で現金をだ

まし取る手口

○実際には閲覧していない有料サイトの料金未納メールを携帯電話に送り付け、延滞料や退会料名目で現金を

だまし取る手口が多発しています。

由良地区においても、この手口に関する相談が実際にありましたので、他人事と思わず、充分注意して下さい。

また、「マイナンバー制度」の導入に伴い、全国的にこれに便乗した詐欺や不審電話が発生しています。

マイナンバー制度に関して、公的機関が電話で個人情報聞き出すことや、口頭でマイナンバーを伝えることは絶対にありません。

マイナンバーに関する電話がかかってくれば、すぐに警察に相談して下さい。

特殊詐欺の被害者の多くが、「まさか私が引っかけるとは思っていないかった。」と振り返られるのですが、それは手口が年々悪質・巧妙化している証しです。

皆さんが被害にあわないためにも、

○在宅時も留守番電話に設定

し、電話の相手を確認してから対応する。

○相手が親族や公的機関を名乗っても、お金を要求された場合は、すぐに応じない。

○お金が戻ってくる、必ずもうかるという言葉を用いない。

○決して知らない相手にお金を渡したり、送ったりしない。

○少しでも「おかしいな」と思えば、一人で判断せず、相手の言うことを聞く前に、まず警察や家族、知人などに必ず相談する。

ように心掛けて下さい。

なお、警察では、特殊詐欺の犯人から不審な電話があった場合、皆様にだまされた振りをして頂き、現金等を受け取りに来た犯人を検挙する「だまされた振り作戦」を実施しています。

この作戦にご協力頂いた皆様の安全には万全を期しますので、「おかしいな」と思ったら、すぐに警察へ連絡して下さい。



駐在所では、特殊詐欺に限らず、どんな些細なことでもご相談を承っておりますので、是非お気軽にお声を掛けて下さい。

なお、駐在所に電話しても不在の場合は、宮津警察署に連絡して頂くか、緊急の事件事故の場合は、一一〇番通報をお願い致します。

それでは最後になりましたが、今後とも駐在所に対して、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 四部対抗バレーボール大会に参加して

玉垣光紹

七月五日に恒例の四部対抗バレーボール大会が行われました。当初は人数が揃うか心配ではありましたが、何とか人員が集まりました、試合をすることができました。

第一試合は、さすがにみんな堅さが出て、ボールが思うところに行かなかつたり、とんでもない所に飛んで行ったりしてバタバタしましたが、徐々に慣れていくうちに、バレーボールらしい形になっていきました。

最初は、他の地区の人達も和気あいあいと楽しんでプレーを行っていましたが、得点が接近し、ラリーが続くようになると今までの雰囲気さがらりと変わり、プロの選手さながらのプレーも出たり、どの試合も白熱し、各地区の応援にも一段と力が入り、大変盛り上がりました。

我が三部は、珍プレーや爆笑するような事が多々ありましたが、何とか一試合目、二試合目共に勝利することが出来、優勝のかかった三試合目に挑むこととなり、選手みんな気合が入っていました。

優勝を意識していたのもあり、つまらないミスなどもありましたが、気迫あふれる応援のおかげで何とか平常心を取り戻すことができ、点を取ったり取られたりの試合となり、一喜一憂しました。

結果は、接戦の末、見事に優勝することが出来ました。しかし、試合が終わると、体のあちこちが痛みだし、

日頃の運動不足を痛感しました。

女子は、長く続いた優勝の連覇記録が途絶えて残念でしたが、男子の優勝で少しは地区に貢献できたのではないかと思います。

また、参加した地区の選手が怪我もなく、無事に楽しい一日を過ごせて大変良かったと思います。



# 十年ぶりのソフトバレーボール

栞田 有加

秋晴れの空が綺麗に広がり、高く澄み渡っています。実りの秋ですね。

時はさかのぼり、まだ太陽の日差しがジリジリと容赦なく照らしていた七月の初め、四部対抗ソフトバレーボール大会が開催されました。私は地元へ帰ってからの初めての地区行事で、ドキドキしていました。

まず、自分のチームの誰が誰なのか。「昔と変わらないなあ」という方や「えっ、少し前まで小学生だったのに、もうこんなにおつきくなつたの?」という子もいました。逆に、「もうそんなにおつきなつたんか。」と言われることも多く、自分も同じように大人になつているのだと思うとなんだか少し嬉し恥ずかしく、何とも言えない思いでした。

記憶が正しければ前回参加した時は中学生だったように思います。当時も思いましたが、柔らかいボールは難しい。今回も思ったように打てないし、飛ばないしで四苦八苦していました。経験のある方、ママさんバレー等に参加している方は流石です。

元氣もパワーも負けてしまいそうなほどパワフルでした。コートの中には中学生から年配の方まで様々。どのチームも年齢関係なく、力いっぱいプレーをし、ファインプレーには歓声、カッコイイプレーには奇声を上げて優勝を目指しました。

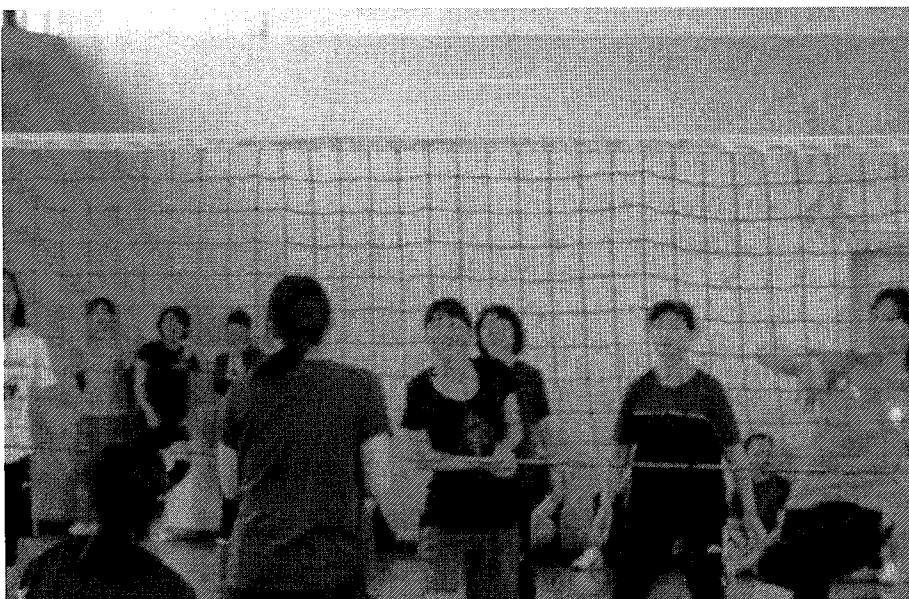
そして、強敵、浜野路さんを破り、私達、港・石浦チームが優勝できました。運動会でもあまり良い結果を残せていないので、バレーもだめだろうと正直やる気

はあまりありませんでした。試合よりお喋りに夢中になつていたので、すごく驚きました。「あと一つ勝つたら優勝やで」と言われたときにはスツと自然に力が入りました。最終戦は、どのセットもギリギリで、こつちに来るな、落としてはいけない、ミスはしたくないと思う一方、点を取りたい、楽しい、とワクワクしていました。

スポーツが大好きなので、とても楽しくさせていただけました。九人制のバレーボールは自分の守備範囲が少ないのは助かるのですが、味方のお見合いが多く、難しいところもありました。

来年は、残念にも今年出場できなかった方と一緒にバレーをしたいです。若い人とも一緒にバレーをしたいと思

いますので、皆さんの参加をよろしく願います。最後になりましたが、とても楽しい一日でした。役員の方、ありがとうございました。次回の開催を楽しみにしています。





# 四部対抗ソフトボール大会 優勝チームの一人として

枘岡典幸

毎年、真夏の真っ只中に開催される四部対抗ソフトボール大会ですが、出場された各チームの皆様、暑さの中、大変お疲れ様でした。

本大会は、お盆で帰省されている皆様が気軽に参加し、親交を深めることが出来るソフトツイベントの一つであります。

試合はトーナメント制で、三位決定戦を含む四試合を行い、試合が進むにつれ好プレー珍プレーが続出したゲーム内容となりました。

四・五年前程前までは、猛暑の中での戦いですので、若い頃野球やその他のスポーツでもやっていたら別ですが、私みたいな運動オチンチにとって正直あまり気乗りはしませんでした。しかし、毎年

参加させていただくうちに、大変面白く感じるようになり、今では私にとって最も楽しみなソフトツイベントの一つになってしまいました。

由良には、恒例行事として「春の由良ヶ嶽登山」「夏の球技大会」「秋の運動会」という三大スポーツ行事が開催されております。今年の七月「由良を良くする地域会議」がアンケート調査を実施され、こういった行事の存続を危ぶまれる住民のご意見がありました。

スポーツイベントだけではなく、由良地区の伝統行事である秋祭り等、少子高齢化と空き家の増加が進む中、人材不足による活動の停滞は何としてでも避けなければなりません。

地域住民が楽しみながら、普段

はなかなか会えない方々とお互いの近況を確認し合う場である運動会や秋祭りは、地域の伝統文化でもあります。

こういった行事が、もし将来なくなるとしたら、地域住民の交流の機会が減り、村全体の活気がなくなり、人と人とのつながりが希薄なものになります。

このようなことにならないよう、住民の皆様一人ひとりが積極的に行事に参加し「自分たちの住んでいる地域は自分たちで何とかしないとイケない」という強い気持ちを持つことが大事だと思います。

日曜、祝日も仕事でなかなか交流の場に参加できないという方も沢山おられると思いますが、ぜひ

一度参加してみてください。楽しく身体を動かして集える場所だということを必ず実感できるはずです。



# 十六年目の子供地藏盆を終えて

中西 正直

「何で僕が？」要請を受けた時の第一声です。「出来るかな帰りは遅いし、休みは少ないし」世話人代表として務まるのか、正直、不安でしたが、幸い同世代で世話を運営することとなり、ひとまず安心しました。子を持つ親として地区内の子供の少なさは悩みの種といえます。夏休みに子供たち（我が子も）と一緒に遊ぶ機会が少なく、家か近所で遊ぶしかありません。そんな中、子供地藏盆の代表を任せられ、子供たちが喜ぶ一日をつくってやりたいと先輩諸氏に相談しながら、協力してもらい企画してみました。総勢二十四名の世話人の皆さんはさすが慣れておられます。カレーの準備、お地藏さんの<sup>よたれ</sup>澆かけ、模擬店のメニュー<sup>etc.</sup>。翌日の後片付けもそうでした。会員が揃わ

なくても、今いる仲間である。楽しんでやる。子供たちの為にやる。当たり前のことですが、とても自然体で一緒に出来ることを嬉しく思えました。あるとき世話人の方が言っていた言葉が思い出されます。「長い間、やっておるとそれで良いとか、それが正しいとか思わなくなつてマンネリになる。全てではないけど今の子供の感性は、今の親の感性で企画せんと時代錯誤で子供たちに受け入れられることはない」孫もいる方がそんな風に考えていることに共感を覚えました。

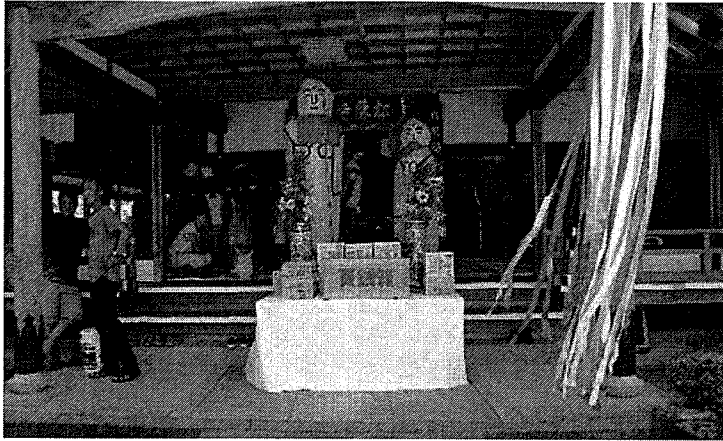
暑い一日でした。朝九時から子供たちと地区回りに出かけ各家にお供え物をお願いに歩き、車に気をつけながらワイワイガヤガヤ練り歩きました。途中、軽トラックが止まり、「家に誰もおらんか

らここでお供えするわ」と言つて渡してくれたたり、呼び戻されお供えをしてくれたりへ行つたり来たり<sup>の</sup>二時間を終え無事に寺に戻つてきました。昼からはいよいよ本番スタート、和尚さんの子供たちへの説教、お地藏さんの前で



全員、般若心経の唱和、提灯の絵描き、一方公民館では女性の皆さんでカレーづくり<sup>に</sup>十数名が奮闘中。寺の本堂では手品が始まり、大人も一緒に大賑わい、模擬店の係りも準備に大わらわ。本業顔負

けに焼きそばのヘラを動かし模擬店開始前に大忙し。手品が終わる、模擬店スタート。司会進行役も一段落、子供たちは模擬店の前やゲームの前で群れ集い、遊び、笑い興じている。気温は三十五度超え、子供たちの熱気が気温をおおる。やがてカレーライスの案内で本堂で食事会が始まり、カレーを配る人、お茶を配る人、席を探す人で本堂はゴツタ返す。境内ではお年寄りさんがゆつくり喋りながら食べている。いい雰囲気漂っている。いい時間が過ぎていく。そして地区の皆さんからいただいたお供え物を配る。嬉しそうに袋を受け取る子供たち。やっぱ子供は子供なんやな、と思えてくる。その場で中身を見せ合つてゲラゲラ笑っている。好きなお菓子が入っていたのかも。六時二十分になり、子供地藏盆終了のあいさつをする。次は公民館主催の盆踊りが始まる。境内は公民館スタッフが大忙し。本堂はケープルの片付け、襖を入れ、調度品を元



に戻すのに動きまわる。カレーの後片付けが終わり、その頃には全員疲れて口数もかなり少なめ。寺を後にしたのは十時ごろ。

疲れたが何となく気持ちいい。地区の皆様、本当に有難うございました。世代を超えて集えたことの素晴らしさを子供地蔵盆を終えて感じています。そして世話人の皆様、来年もよろしく願います。

## 由良地区運動会と公民館行事

由良地区公民館体育部長 吉成博一

九月二十七日、はまの子グラウンドにて由良地区運動会が行われ、優勝三部、準優勝一部という結果になり無事に終了しました。運動会を実施するにあたり、公民館役員の方々とは度々会合を持ち実施に至りました事、ご協力ありがとうございました。

運動会ですが、隔年開催となっております。小学校閉校の何年か前から毎年実施していましたが、閉校後は隔年に戻ります。当由良地区においては何年も前から少子高齢化が叫ばれています。実施するにあたっても問題が出ています。年齢別、性別と区分があったプログラムの内容を前回の運動会から大幅に緩和し、人員確保を容易にできるようにしました。それでも各地

区苦勞されたと聞いています。会議の中で運動会の実施の可否について意見が出ました。この意見はまだほんの一部かもしれませんが、そう考えている方はいるということですよ。今後の課題ということ、今回は収まりましたが、意見が上がったので色々と考えて行かねばならない時期になってきているのではないのでしょうか。

運動会に限らず公民館行事に参加してくれる方が少なくなってきました。生活様式が変わり参加しない、できない理由が色々あるとは思いますが。ただ男女を問わず世代間の交流になっっているのはこのような場です。できる限り参加して頂きたいと思えます。私はUターン組ですが、出て行くことによつて



気軽に話しのできる人は増えました。顔と名前が一致するには何年かかかりましたが、良かったと思つていきます。最後に色々ありがとうございます。

# 二年ぶりの地区運動会に想う

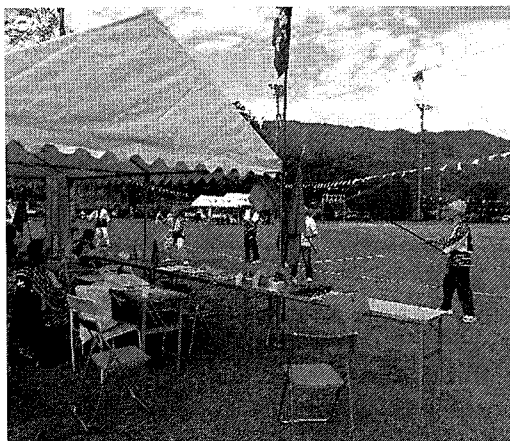
浜野路自治会長 岸 田 國 彦

二年ぶりの由良地区運動会の開催にあたり、地区民が集まる機会は、総会の場しかなく、ましてや由良の全地区民が集まれる機会、この場しかないということ

を改めて強く思いました。よって、選手選考会での挨拶で、優勝することより、できる限り多くの地区民の選出をお願いしたいということ、応援に力を入れ一人でも多くの地区民に参加をしていただき、皆でドキドキ・ハラハラそして大いに笑ったり、そんな一日にしたいとお願いしました。

選手選考には、分館長さんを初め公民館役員・競技委員の方々に大変お世話になりました。

そして、青壮年会のお力添えをいただき、矢谷応援団長のご指導のもと応援の振り付け・応援歌の練習を自治会役員（理事）も参加して九月二十一日より始め、最終



日の二十四日には「夕月サロン」の皆さんにも参加をいただき、大いに盛り上がり、とても心強く手応えを感じました。途中、他の地区では競技種目の練習をしているとのこと、我々も練習をしたらとのご意見もありました

が・・・。運動会当日は、どの時点から応援を始めるかが中心話題で、競技の始まる前から、力が入っていました。

競技は毎回、「大縄跳び」の前くらいまでは順調に推移し、「綱引き」から順位を下げていくというのがこの数年のパターンでありましたが、今回はなんと「綱引き」の一回戦を勝ち抜いた時には、ひよつとしたら優勝するのではと、応援席は盛り上がり、応援は一段と熱を帯び、得点を見ては一喜一憂をする様な状態になりました。

午前中の競技を終えた時点で、二位に十九点差をつけ首位、少しずつ優勝の二文字が現実味を帯びてきました。

しかし、昼から二種目を終えた時点では、二位と四点差、最終種目「リレー」の前には七点差で、すべては「四部対抗リレー」での勝敗となり、最後までドキドキ・ハラハラ（予定通りか・・・？）そして一同歓喜に沸きました。

結果は、四大会ぶり（この時は、完全優勝でしたが）に総合優勝を果たすことが出来ました。これも地区の皆様が一致団結し競技に応援にご支援・ご協力をいただいた

た結果であると深く感謝を申し上げます。

当夜の慰労会は、多くの皆様に参加をいただき、盛大な祝賀会となりました。

そして、締めはもちろん応援歌となりました。

最後に、初秋の一日を楽しく過ごすことができましたことは、公民館を始めとして、開催に向けご尽力頂きました全ての皆様のお陰と厚く御礼申し上げます。

次回、二年後に再び楽しく充実した一日の皆様と共に過ごせることを楽しみにしまして結びとします。



# 由良地区運動会に参加して

栗田小学校六年 野村 航世

九月二十七日(日)に由良地区運動会に家族みんなで参加しました。

天気は晴れでよかったです。前日は雨が降っていたので二十七日の運動会が開催されるのが少し心配でした。でも、当日は晴れて、二年に一度の由良地区運動会が開催されました。

僕が運動会で参加した種目は、まず、最初に障害物競走でした。僕は、障害物競走は苦手だけど頑張りました。えいへいや踊りにも出ました。はじめて踊る踊りだっただけど前の人が踊るのを見ながら踊りました。

お昼ごはんは、家に一度帰って食べました。

グラウンドに戻り、午後の部の一番初め、ふれあい玉入れに参加しました。松寿会の方たちと一緒に玉入れをして楽しかったです。

だけど僕達のチームが負けてしまったのは残念です。

次に小学生全員リレーに参加して、アンカーを走りました。負けてしまつて悔しかったです。

最後に参加した種目は四部対抗リレーです。小学生男子からのスタートでした。スタートラインに立った時にはすごく緊張したけど走り出したら緊張が解けて思いつきり走ることが出来て一番で第二走者にバトンを渡すことが出来ました。嬉しかったです。四部としては、残念な結果になりましたが、地区の皆様方と一緒に交流が出来て良かったと思います。

小学生最後の年に由良地区運動会に参加して、心に残る良い思い出を作ることが出来ました。



# 由良地区運動会に参加して

栗田小学校六年 亀井梨帆

九月二十七日に由良地区運動会がありました。その日はとても天気が良かったので、運動会日和だなと思いました。それに旧由良小学校で運動会をするのは二年ぶりなので、なつかしく思いました。私達、小学生の出場する種目は、得点が入る種目が少ないので応援を頑張ってしまうと思いました。

私が一番心に残った種目は、四部対抗リレーです。初めて得点が入る種目に出場するのでとても緊張しました。宮本地区はこれまでの種目の総合得点がいまより良くなかったので、絶対一位になりたいな、と思っていました。私は第二走者でした。リレーが始まって第一走者が二位で私にバトンを渡しました。予想どおりでした。バトンももらい、何も考えずに真剣走りました。前の人が速くてな

かなか追いつけませんでしたが、ラストスパートのところで追い詰めました。あと少しで抜かされていたのに抜かせなくてとても悔しかったです。そして次の人にバトンを渡しました。そしたら次の人が前の人を抜いてくれました。そして一位になりました。

その時はとてもうれしかったです。私は一生懸命応援をしました。宮本はそのまま順位をキープして一位でゴールしました。私はすごく喜びました。本当にうれしかったです。全力で走ることができ、リレーに参加できて良かったです。

宮本の総合順位は三位でした。少し悔しかったけれど四部対抗リレーで優勝できてうれしかったです。次の運動会は二年後で私は中学二年生なので得点が入る種目にも出場できると思います。

だから全力を出して一位を目指したいです。とても楽しい思い出に残る運動会でした。



# 軍艦「由良」

由良の歴史をさぐる会 飯澤 登志朗

由良神社拝殿の右側にソテツが大きく繁りその陰に「献木軍艦由良」と彫られた石柱がある。

当時は、軍艦「由良」の武運長久を祈願して献木されたもので、太平洋戦争で最後を遂げた軍艦「由良」の生涯を振り返り犠牲となられた多くの軍人の御霊に哀悼の誠を捧げたい。また今後は平和を願っての記念樹として地域で守り続けていきたい。

軍艦「由良」は大正十一年(一九二二年)に佐世保工廠で進水した軽巡洋艦で艦名は若狭湾に注ぐ由良川から由来し由良神社はその守護神であった。

排水量は五、五七〇トン、全長一六二m・全幅十四m・最大全速三十六ノットで乗組員は四四〇名であった。

竣工から五か月後の九月一日に関東大震災が発生、首都圏は甚

大な被害を受けているが「由良」は品川方面に配置され救援活動に従事している。その後の主な活動は、一九三七年(昭和十一年)上海上陸作戦に出動、翌年は南支作戦に出動した後トック入りをしている。

一九四一年(昭和十六年)太平洋戦争勃発後はマレー上陸作戦を支援、その後も南方方面で戦争に参加している。

一九四二年(昭和十七年)八月、戦争は激しくガダルカナル島支援に向かった輸送船団は米軍機に撃退された。

「由良」も同年九月B17爆撃機による攻撃を受けた。さらに十月被弾し沈没することになるが、沈没当時に「由良」機械分隊長・海軍大尉上村嵐氏の体験記がある。

(一部引用)  
『昭和十七年六月、私にとって

初陣であるミッドウエー作戦に参加した。この海戦におけるわが軍の被害は甚大であったが、幸運にも「由良」は無傷であった。その後、戦火はソロモン群島に移り、ガダルカナル島の攻防戦が展開されると「由良」は昭和十七年九月二十一日から陸軍部隊のガダルカナル島に対する輸送作戦に従事した。

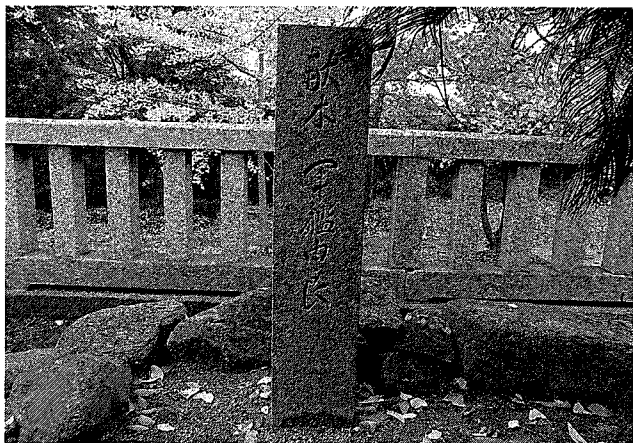
毎日、日の出と日没頃になると必ず米軍機が来襲して待機中のわが艦艇に対し爆弾を投下していった。

わが艦艇は全力即時待機の状態であり、敵機を発見すると直ちに総員が配置につき対処していたが、同年九月二十五日早朝の事である。当直が終わり朝食の最中に「敵機来襲、総員配置につけ」

のブザーが鳴った。急いで機械室へ移動中ドカンと百雷が一時に落ちるがごとき大音響とともに、物凄い爆風が生じ私は吹き飛ばされた。そして今度は頭から海水をぶっかけられた。てっきり艦が

沈没するのではと考えたが、その後何も起こらず空襲解除となったが上甲板に居た通信長は直撃を受け肉片一片も残すことなく、壮烈極まる戦死を遂げられたのである。

さらに、十月二十五日午前十時三十分頃、敵機来襲、「由良」は被弾により航海の自由が失われつつあった。浸水がひどく速度も低下した。二次・三次の攻撃により「由良」は猛火に包まれた。



沈没の危険性が高まったことから乗組員を他の軍艦に救助した後、僚艦の駆逐艦「春雨」「夕立」の発射した魚雷一発が命中して「由良」は艦首から沈み始めた。最終的に「夕立」の砲撃により沈没し戦死者は一四四名であった。』

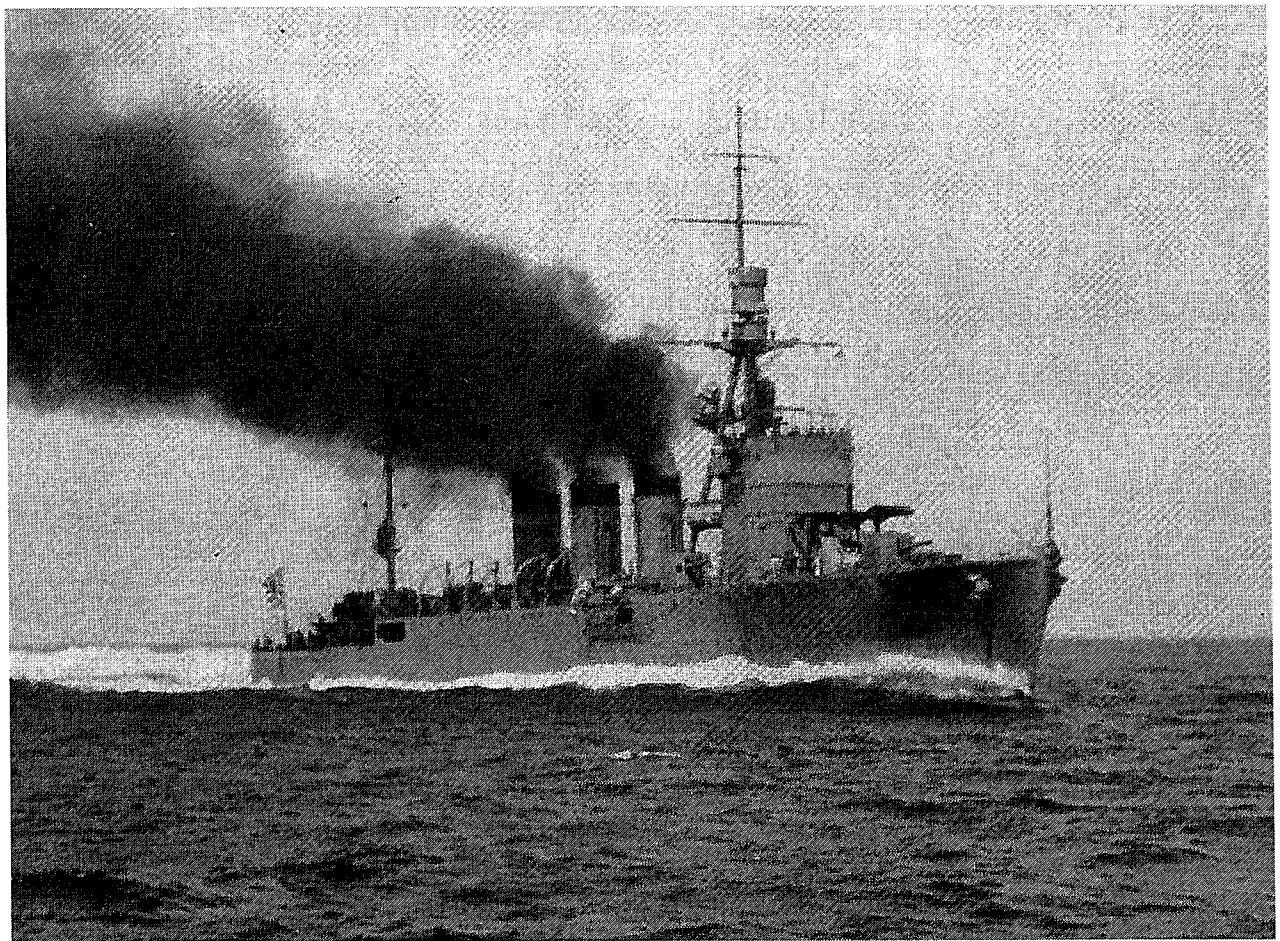
大正七年以来、艦隊計画により合計十四隻が建造されたが船名はすべて川から由来していた。

由良を始め 球磨・多摩・北上・大井・木曾・五十鈴・名取・鬼怒・阿武隈・川内・神通・那珂・長良・である。

その後建造された巡洋艦を含めて二十五隻のうち終戦を迎えたとき、ほとんどが太平洋に沈み残ったのは三隻であった。

戦前は、由良海岸沖に軍艦「由良」が停泊すると乗組員が上陸して守護神である由良神社に参拝し境内では相撲や銃剣術の試合があつたり、またカッターで沖の艦まで送迎され艦内見学等住民との交流も盛んであつた。 合掌

参考「軽巡二十五隻」(潮書房光人社)



平成26年度 宮津市人権標語入賞作品

いじめない やさしい心と 強いぼく (小学3年生)

考えよう きずつけ合いより 助け合い (小学5年生)

助け合い 心が動く 第1歩 (中学3年生)



## 由良川

## 中西 衛

昭和二十五・六年ごろ、毎年夏になると上石浦で魚取りをした。

伝馬船に乗り、櫓をこいで島の周りを回った。「タボンヅツ」といって節を抜いた竹に縄をつけたものを沈めてあり、それをゆっくりと引き上げて、片方の手で蓋をして少しづつ水を抜いていくと中に鰻がいるときは、あわてて船の中へ入れて取る。

二十本位あげると五〜六本は鰻が入っていた。又、海老も取った。小さな「タモ」(網)で海老すきをしたり、杉の葉を束にして縄で縛ったものを沈めておいたのを少しづつ上げて、籠を下に置き、その上でバサバサと振ると中の海老が落ちた。小さな白い透き通った海老が二十〜三十匹取れた。その中に黒い大きな海老が五〜六匹混ざっていた。

だが、その海老は「熊襲」海老と言って天ぷらにするとおいしかった。

秋口になると「鯊」釣りもした。島には石で水槽が作ってあって海老が多かった。

上石浦で公園と言っているところは、河が少し浅くなっているところ、河が多くとれた。バケツ二〜三杯は短時間で一杯になった。

水底が砂地のところは葦が多く生えていて鰻や海老が多かった。

鉄橋より少し上流では、二十〜三十人の人達が、ボラ釣りをしていた。赤土とさなぎをこねて丸く団子にして、その中に針を埋めて投げる「ばくだん釣り」と言っているようだが、私はまだ小さかったので見るだけであつた。

又、「はえなわ釣り」もおじいさんとおじさんが夜にカーバイトに火をつけて行ったが、私は連れて行ってもらえなかった。鱒(スズキの若魚)釣りだったようだが、昼、河の中でバツシャと鱒がよく跳ねていたので多くいたのだろう。又、別名「ネコマタギ」という魚や「ユダ」も骨の多い魚であつたがよく取れた。

伝馬船で由良川河口を出て、まはなの沖まで来て、鱒釣りもした。貝の実を餌にして釣った。朝二〜三時間くらいで鱒五十匹以上、小さな真鯛二十四匹釣れた。「ガイガイ」と言っていたトゲのある魚も二〜三匹取れた。

今から思えば自然が多く残っていた。「デンクロ」と言っている小さな黒い魚もいたし、田んぼには「タニシ」が多かった。

綾部の由良川では、鮠釣りをした。カゴ釣りと行って二〜三センチの針金で作ったカゴ状の

ものにサナギをつめて、その上の方の糸に針を五〜六本つけて、サオを上下に上げたり下ろしたりして魚が引つかかるのを待つ。

綾部大橋より下流一〇〇m位のところに井堰があり、そこから農業用水の青野川が流れている。その青野川に蛍が数多くいた。毎晩蛍取りに行き、一晩で何十匹も取った。ところが昭和二十八年九月二十五日の十三号台風で全部流されて全然いなくなった。

子供時代はとにかくよく遊んだ。川や海だけじゃない、陸でも夜暗くなるまで家に帰らなかった。クギさし、メンコ、ケンパ、馬のり、くちくすいらい、凧あげ等々、グンゼの使わなくなった工場が何か所もあったので、その中で遊んだ。

〈写真〉

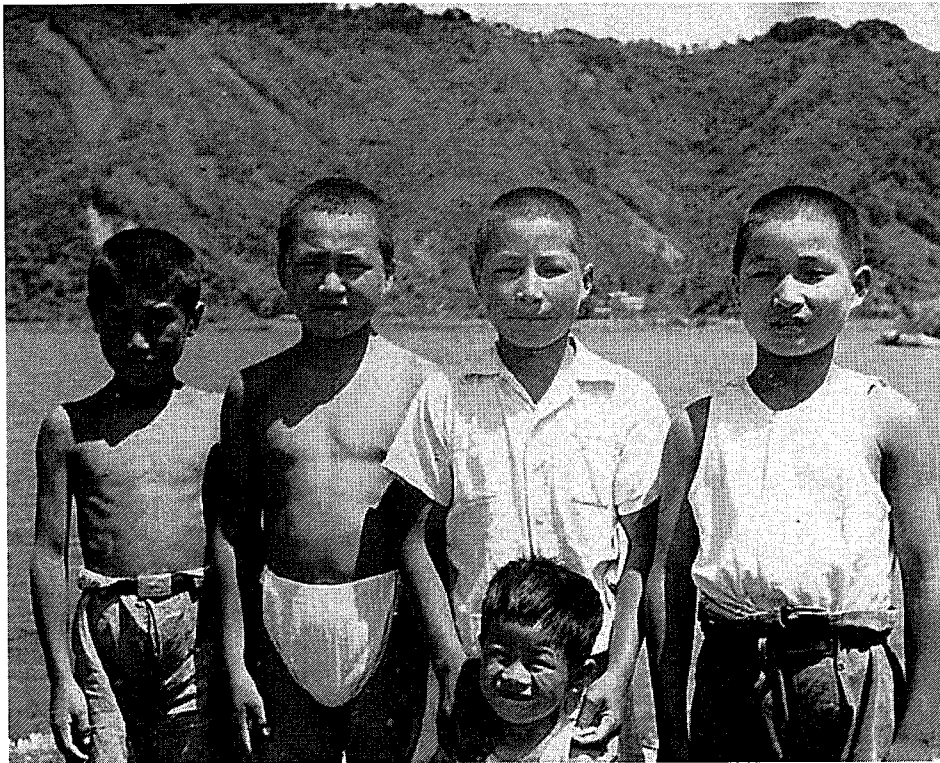
昭和二十五年八月

右端

中西 衛氏(小学五年)

右から二番目の前

山下 良一氏(三歳)



右から二番目の後

山下 啓二氏(小学六年)

右から三番目

野村 孝行氏(中学一年)

左端

山下 正男氏(小学三年)

# えいへいや踊り

えいへいや踊り保存会 世話人

この由良地区で古くから踊り継がれてきたえいへいや踊り、ゆつたりとした踊りは古代の念仏踊りが変化したと言われています。

平成十六年に有志が集い、地域に残る文化を伝承するため、踊り保存会が結成されました。同時に故、四方先生から素敵なハツピを寄贈していただきました。又、由良小唄と共に三味線、太鼓、唄い手さんのリズムを入れ、先輩の方々定期的に教えていただきながら練習を繰り返し、地区の運動会、敬老会、地藏盆等で披露してきました。

当初は六十名の会員が、高齢になると共に今日では半数になりました。古くから伝えられるえいへいや踊りを何とか先輩方の後を継がなければと年何回か練習を続けております。今年は小学生

も練習に来てくれました。お母さん達もどうぞ練習に参加していただきますようよろしくお願い致します。

老若男女の皆様によって、いつまでも親しまれ踊り継がれることを希望しています。



### 由良地区の皆さん

## ターゲット・バードゴルフのご案内です

宮津市ターゲット・バードゴルフ協会

理事 中西 忍

由良地区の皆さんにターゲット・バードゴルフの概要をご紹介します。一緒に競技を楽しんで頂きますようご案内申し上げます。「ターゲット(標的)」「バード(鳥)」「ゴルフ」の三語をつなぎ合わせた名称を、略称TBGといい文部科学省所管、生涯スポーツのひとつとして、全国大会の正式競技種目として認められています。この競技はプラスチック製のゴルフボールに、バドミントンの羽根を付けたボールをゴルフクラブで打ち、パラソルを逆さに立てたホールにパシッと打って、ふわりと入れる競技です。宮津市TBG協会は平成二十五年十一月十八日に設立され、会員数は現在二十五人で由良地区十四

人、宮津十一人のメンバーです。練習会場は、はまの子グラウンド、はまの子体育館の利用を宮津市教育委員会にお願いし、由良地区公民館のご協力を頂き、コース設定の環境に恵まれた会場を使わせて頂いております。毎週月曜日が定例練習日で、午前九時から十一時半頃まで練習や競技をしています。始まった当初「週一回でどうやら中々上手にならへんなー」「どうや明日もやらへんか」と声を聴き、「雨降りや強風の日は体育館で、コンディションの良い日はグラウンドで土、日、祝日も休み無く、毎日和気あいあいとプレーしています。メンバーは六人から八人位ですが、毎日集まって来る繋がり、素晴らしさに感

激しながら、今迄こんな仲間付き合いをしたことはありませんでした。真冬の雪降りは体育館でショートアプローチ練習、連日の猛暑続きにも、水分補給飲料持参で暑さとの戦いの中、打ち下ろしショートコースでホールインワンした時の爽快な気分と、思わず「入った」の一言。バツクネットから外周フェンス沿いの楠と桜で木陰になる、名物難コースの攻め方にも最近は相当腕を上げ、満足感を味わいながら明日もまたやるで、というこ

とに繋がっております。先ずは、何時でも【はまの子グラウンド】へ来て見てください。お待ちしております。



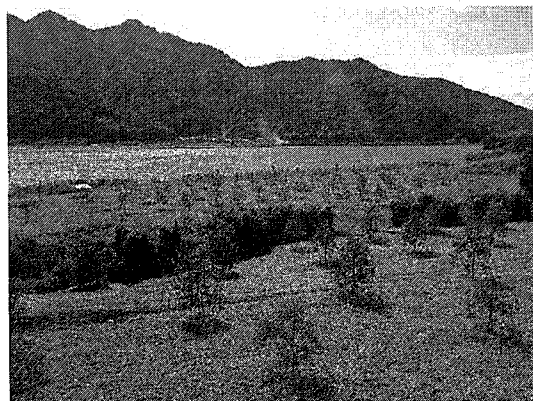
## 由良オリーブ園・由良オリーブ工房

上石浦地区、由良川沿い。眼下に広がる由良オリーブ園には、6品種約120本のオリーブが植樹されている。2013年11月、『由良オリーブを育てる会』を結成。2015年10月現在、会員数16名でオリーブの栽培・管理を行っている。

由良地区には現在、由良オリーブ園の他、4か所のオリーブ圃場において、約450本のオリーブ樹が栽培されており、今後も続々と増植していく予定となっている。

宮津市の新たな産業として確立していく様、日々努力している。

現在、『由良オリーブを育てる会』はオリーブ茶・オリーブの実の新漬けを販売中。由良地区では、駅前の安寿足湯・小西商店・藤本昌治農園直売所で購入が可能。



由良川沿いに広がるオリーブ園



由良オリーブ工房

### オリーブ茶

3P入り¥270、7P入り¥600

### オリーブ新漬け

100g入り¥500

また、来年2016年からは、京都産のオーガニックで栽培された国産オリーブオイルを製作・販売予定。



由良オリーブ工房からの景色

## 編集後記

2015 (H27) 十一月

天候を気にしていた運動会や各神社の例祭も無事に終了しました。十月に入り日本晴れの日が多く見られます。朝晩は少し冷えるようになってきました。日中は穏やかな気候になりました。

秋は実りの秋・食欲の秋・読書の秋など、いろいろな表現で表します。現在台風25号が発生、被害にあわなければと願います。稲の収穫も無事に終わり今年も豊作と聞いています。

ひとまず安心です。

地球温暖化に伴い、台風が多量発生、爆弾低気圧により、ゲリラ豪雨による竜巻の発生、道路や田畑の冠水で田畑に甚大な被害をもたらしています。

丹後地方では大きな被害が出なかつたのは幸いなことです。

最近、熊の出現に迷惑をしています。早く終了したいものです。

(枝川)